

令和6年1月4日

医療法人玉昌会加治木温泉病院で
入院治療を受けた患者さんへ
(臨床研究に関する情報)

医療法人玉昌会加治木温泉病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたいときや、研究への参加を希望されない場合は、下記の「お問い合わせ先」へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

【研究課題名】

失語症者に対するADOCを用いた目標設定支援の取り組みについて

【研究機関】

医療法人玉昌会加治木温泉病院総合リハビリテーションセンター

【研究責任者】

原口友子（総合リハビリテーションセンター・副技士長）

【研究の目的】

脳卒中ガイドラインによると、効果的なリハビリテーションには適切な目標設定を行い、包括的にアプローチを行う多職種連携が推奨されています。また、適切な目標設定の方法としてリハビリテーション領域では患者と医療者が意思決定を共有するShared decision-makingが望ましいとされています。しかし、失語症等によるコミュニケーション障害を呈した患者との情報共有は困難を伴う場合が多いです。そこで、当院では2022年に非言語的なツールである作業選択意思決定支援ソフト（以下、ADOC）の利用を開始しました。今回、ADOCを用いた目標設定を行った失語症群とADOCを用いなかった失語症群の目標設定における差異について調査し失語症者の目標設定における課題について報告します。

【研究の方法】

対象は2022年6月1日～2023年7月30日の期間に当院に入院した患者さんのうち、失語症を呈していた患者さんです。ADOCを実施した失語症者と実施していない失語症者で目標設定に差異があるか、失語症の重症度およびFIM得点により目標に差異があるかについて分析を行います。

●対象となる患者さん

2022年6月1日～2023年7月30日の期間に当院に入院した患者さんのうち、失語症を呈していた患者さんを対象とします。

●診療録（カルテ）から利用する情報

性別、年齢、機能的自立度（FIM）、失語症重症度、ADOC、カンファレンスのコメント、リハビリテーション総合実施計画書のコメントのデータを集めて分析します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は、学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、医療法人玉昌会加治木温泉病院の責任で行います。企業等からこの研究について寄付は一切ございませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などですでに公開された後のデータ等、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-0042

鹿児島県始良市加治木町木田4714

医療法人玉昌会加治木温泉病院総合リハビリテーションセンター

有川瑛人（技士長）

電話 0995-62-0001FAX0995-62-3778